

講義コード	519401201	
講義名	保育内容総論 AB	
(副題)		
開講責任部署	幼児教育科 (短大)	
講義開講時期	前期	
基準単位数	1	
時間	0.00	
代表曜日	水曜日	
代表時限	3 時限	
科目分類名	専門科目	
科目分野名	教職に関する科目	
対象学部・年次	短期大学部・1～2年	
必須/選択	必修	
担当教員		
職種	氏名	所属
専任教員	穴戸 良子	指定なし
専任教員	教務委員会 (短大)	指定なし

授業の概要

子どもを取り巻く環境や状況は、多様化・複雑化している。本科目では、乳幼児期の保育・教育における基本的な考え方を学び、保育の全体的な構造を理解する。また、子どもの発達や実態に即した保育の多様な展開について、具体的に理解する。

授業の到達目標及びテーマ

(1) 乳幼児期の保育・教育の基本を踏まえた幼稚園や保育所などにおける指導の考え方について述べるができる。

- ① 保育の内容の歴史的変遷とその社会的背景について説明できる。
- ② 乳幼児期の保育・教育における基本的な考え方について、具体的な事例を挙げて説明できる。
- ③ 遊びを通しての総合的な指導の意義と保育者の役割が説明できる。
- ④ 乳幼児期の保育・教育における子ども理解に基づく評価について説明できる。
- ⑤ 乳幼児期の保育・教育と小学校教育との円滑な接続についての説明ができる。

(2) 乳幼児期の保育・教育における指導計画の考え方を述べることができ、乳幼児の発達の過程を見通した指導計画の作成の仕方を説明できる。

- ① 乳幼児期の保育・教育における指導計画の考え方について説明できる。
- ② 長期の指導計画と短期の指導計画との関係について説明できる。
- ③ 具体的な乳幼児の姿から指導計画を作成する手順と配慮点について説明できる。
- ④ 指導計画の評価の考え方について説明できる。
- ⑤ 乳幼児にとっての行事の意味を理解し、園行事の在り方を説明できる。

(3) 乳幼児の興味や関心や発達の実情などに応じた具体的な指導を実践できる。

- ① 乳幼児の実態に沿って、物や人との関わりを深める観点から教材を工夫する力を身に付ける。
- ② 保育記録を書くことを通して、乳幼児を理解する力を身に付ける。
- ③ 模擬保育を通して、ねらい及び内容に沿って総合的に指導する力を身に付ける。

到達目標については、学習成果における①保育者観、②知識・技能、③実践力と実務能力、④人間性と協働性が該当する。特に①②③を重視する。

幼児教育科のディプロマ・ポリシー「2.幼児教育の基本的知識を体系的に理解している。また、幼児教育の歴史、社会や自然と関連づけて理解している。」と「4.幼児教育の知識・理解に基づ

いた幼児教育の方法や技術を習得している。」を達成するための科目である。

授業計画表

回	担当教員	項目	内容	予習
第1回	穴戸良子	子ども理解と子どもの生活について	視聴覚教材を通して園生活における具体的な子どもの姿を知り、保育者の役割について考える	
第2回	穴戸良子	乳幼児期の保育・教育における環境構成の意義について	実際の保育室のようすから環境（物的、人的）の工夫や配慮について学ぶ	
第3回	穴戸良子	子どもの遊びについて	視聴覚教材を活用しながら乳幼児の遊びの場面を観察し、子どもの主体性を尊重する保育における多様な経験の意義について考える	
第4回	穴戸良子	幼児期の保育・教育における教育課程及び全体的な計画と指導計画について	乳幼児にとっての行事の意味を考える（第5回～第9回の授業の最初に、2グループずつ園行事をテーマにした模擬保育を実施する）	園行事に関する演習課題では、5名程度のグループを構成し、各グループで調査学習を進める。
第5回	穴戸良子	乳幼児期の保育・教育における遊びを通しての総合的な指導について	乳幼児期の保育・教育の基本、乳幼児の発達の過程、保育者の役割、環境構成、小学校教育との違いについて理解する	
第6回	穴戸良子	乳幼児期の保育・教育における長期指導計画・短期指導計画について	具体的な乳幼児の姿を出発点とした指導計画の作成手順と配慮点、評価の考え方を理解する	
第7回	穴戸良子	指導計画と園生活の実際について	さまざまな指導計画、保育記録、視聴覚教材を活用し、具体的な乳幼児の姿から多様な指導法及び乳幼児期の保育・教育に対する考え方を学ぶ	
第8回	穴戸良子	具体的な保育の場面における指導法について	視聴覚教材を活用しながら、さまざまな子どもの姿に対する指導法について話し合い、個と集団の発達を踏まえた保育、家庭や地域との連携を踏まえた保育等について学びを深める	
第9回	穴戸良子	保育の内容の歴史的変遷とその社会背景について	時系列に沿って保育内容の歴史的変遷及びその社会背景を学び、子どもの発達や生活を理解する	
第10回	穴戸良子	養護と教育が一体的に展開する保育について	3歳未満の子どもの生活・遊びとのつながりを理解する	
第11回	穴戸良	保育の多様な展開について	長時間の保育、特別な配慮を要する子どもの保育、多文化共生の保育について学びを深める	

第12回	穴戸良子	具体的なテーマに関する模擬保育の準備（1）教材の製作	各自、0歳児向け手作り絵本の製作を行い、子どもの年齢発達に応じた教材選定や製作技術を学ぶ	各自、教材を製作する。
第13回	穴戸良子	具体的なテーマに関する模擬保育の準備（2）発表の準備	0歳児向けに製作した手作り絵本を活用した模擬保の計画・準備を通して、保育活動への理解を深め保育技術を高める	
第14回	穴戸良子	グループ内での模擬保育の実施	ねらい及び内容に沿った指導技術、実践力を身に付ける（6名程度の小グループ内で模擬保育を実施する）	
第15回	穴戸良子	「保育の目標」「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と「保育の内容」のつながりについて	模擬保育の振り返りや意見交換を通して、遊びを通じた子どもの学びへの理解や評価の在り方を学ぶ	

授業時間外の学修

予習として、テキスト及び授業で事前配布する資料の該当箇所の事前読了及び、演習課題の準備をすること。各回の予習には、25分かかると予想される。
また、復習として、授業内容及び配布した資料・板書事項の見直しをすること。各回の復習には20分かかると想定される。
各回の授業に臨むにあたり、授業計画に示した授業内容の予習・復習を3～5時間程度行うこと。

実務経験の有無

ディプロマポリシーとの関連

① 幼児教育者観	② 知識・技能	③ 実践力と実務能力	④ 人間性と協調性
◎	◎	◎	○

ルーブリック

評価項目	優秀 (excellent)	平均 (average)	途上 (developing)	未達 (unachieved)
幼稚園や保育所などにお	授業内容を100%理解しており、①保育の内容の歴史の変遷とその社会的背景、②乳幼児期の保育・教育における基本的な考え方、③遊びを通しての総合的な指導の意義と保育者の役割、④乳幼児期の	授業内容を85%理解しており、①保育の内容の歴史の変遷とその社会的背景、②乳幼児期の保育・教育における基本的な考え方、③遊びを通しての総合的な指導の意義と保育者の役割、④乳幼児期の保	授業内容を70%理解しており、①保育の内容の歴史の変遷とその社会的背景、②乳幼児期の保育・教育における基本的な考え方、③遊びを通しての総合的な指導の意義と保育者の役割、④乳幼児期の保	授業内容の理解が60%以下であり、①保育の内容の歴史の変遷とその社会的背景、②乳幼児期の保育・教育における基本的な考え方、③遊びを通しての総合的な指導の意義と保育者の役割、④乳幼児期の保育・教育にお

ける指導の考え方	保育・教育における子ども理解に基づく評価、⑤乳幼児期の保育・教育と小学校教育との円滑な接続の5点について、具体的な事例を挙げて説明ができる。	育・教育における子ども理解に基づく評価、⑤乳幼児期の保育・教育と小学校教育との円滑な接続の5点について説明できる。	育・教育における子ども理解に基づく評価、⑤乳幼児期の保育・教育と小学校教育との円滑な接続の5点のうち3つ以上について説明できる。	る子ども理解に基づく評価、⑤乳幼児期の保育・教育と小学校教育との円滑な接続の5点についての説明が困難であり、助言や新たな資料提供等を行っている。
指導計画の考え方と作成の仕方	授業内容を100%理解しており、①乳幼児期の保育・教育における指導計画の考え方、②長期の指導計画と短期の指導計画との関係、③具体的な乳幼児の姿から指導計画を作成する手順と配慮点、④指導計画の評価の考え方、⑤乳幼児にとっての行事の意味と園行事の在り方の5点について事例を挙げて説明ができる。	授業内容を85%理解しており、①乳幼児期の保育・教育における指導計画の考え方、②長期の指導計画と短期の指導計画との関係、③具体的な乳幼児の姿から指導計画を作成する手順と配慮点、④指導計画の評価の考え方、⑤乳幼児にとっての行事の意味と園行事の在り方の5点について説明ができる。	授業内容を70%理解しており、①乳幼児期の保育・教育における指導計画の考え方、②長期の指導計画と短期の指導計画との関係、③具体的な乳幼児の姿から指導計画を作成する手順と配慮点、④指導計画の評価の考え方、⑤乳幼児にとっての行事の意味と園行事の在り方の5点のうち3つ以上について説明できる。	授業内容の理解が60%以下であり、①乳幼児期の保育・教育における指導計画の考え方、②長期の指導計画と短期の指導計画との関係、③具体的な乳幼児の姿から指導計画を作成する手順と配慮点、④指導計画の評価の考え方、⑤乳幼児にとっての行事の意味と園行事の在り方の5点についての説明が困難であり、助言や新たな資料提供等を行っている。
乳幼児への指導の実践	授業内容を100%理解しており、①乳幼児の実態に沿って物や人との関わりを深める観点から教材を工夫する力、②保育記録を書くことを通して乳幼児を理解する力、③模擬保育を通してねらい及び内容に沿って総合的に指導する力の3点が総合的に身についており、具体的な実践を展開できる。	授業内容を85%理解しており、①乳幼児の実態に沿って物や人との関わりを深める観点から教材を工夫する力、②保育記録を書くことを通して乳幼児を理解する力、③模擬保育を通してねらい及び内容に沿って総合的に指導する力の3点が平均的に身についており、実践を展開できる。	授業内容を70%理解しており、①乳幼児の実態に沿って、物や人との関わりを深める観点から教材を工夫する力、②保育記録を書くことを通して、乳幼児を理解する力、③模擬保育を通して、ねらい及び内容に沿って総合的に指導する力の3点のうち、やや身についていない力があり、実践の際に課題が見受けられる。	授業内容の理解が60%以下であり、①乳幼児の実態に沿って、物や人との関わりを深める観点から教材を工夫する力、②保育記録を書くことを通して、乳幼児を理解する力、③模擬保育を通して、ねらい及び内容に沿って総合的に指導する力の3点がほぼ身についておらず、助言や新たな資料提供等を行っている。

成績評価法（表形式）

	評価基準	備考
定期試験		
小テスト等	20%	Teamsでの課題の取組みについて評価する。
成果発表	60%	課題・発表について評価する。
授業への貢献度	0%	
レポート	20%	授業内容全般の理解度を評価する。
その他		

課題へのフィードバック方法

--	--	--

定期試験や小テストの結果について	課題（レポート等）について	模擬授業、プレゼン、発言等について
授業の中で解説、講評する	授業の中で解説、講評する	授業の中で解説、講評する

ICTを活用した双方向型授業の内容

クリッカー、アンケート、小テスト等
チャット
掲示板の活用
メール等の活用

アクティブラーニングの割合

総授業時間数の30～60%程度のアクティブラーニングである

アクティブラーニングの内容

書く・話す・発表する等の活動におけるAL	経験値・技能を高める活動におけるAL	授業時間外におけるAL
グループワークのディスカッションやディベート（議論の場と時間） プレゼンテーション コメントシートの活用 小テストや授業内レポートの活用 調べ学習・調査の活用		授業前レポート（予習） 授業後レポート

教科書

『子どもの主体性を育む保育内容総論』津金美智子ほか（みらい 2018）

参考書

『幼稚園教育要領〈平成29年告示〉付・教育基本法、学校教育法(抄)、学校教育法施行規則(抄)』（フーベル館 2017）

『保育所保育指針〈平成29年告示〉』（フーベル館 2017）

『保連携型認定こども園教育・保育要領〈平成29年告示〉』（フーベル館 2017）

『保育の実践・原理・内容[第3版]写真でよみよく保育』無藤隆ほか（ミネルヴァ書房 2014）

『保育内容総論』石川昭義・松川恵子ほか（中央法規 2015）

SDGsとの関連

3. すべての人に健康と福祉を
4. 質の高い教育をみんなに

特記事項等

①実務経験のある教員

該当なし。

②科目のナンバリング

SCO1101

③オンライン授業の実施方法

Teamsによる教材提供、リアルタイム授業、小テスト、レポート等、また、ハイブリッド式授業を行う。

学生へのメッセージ

授業では、具体的な子どもの姿の事例を多数紹介していきます。個々の子どもの姿から、乳幼

児期の教育・保育の基本的な考え方について、実感をもって理解できるよう、学びを深めていきましょう。

研究室（訪問先等）

中央研究棟2階 209研究室

火・水・木・金曜日が出講日です。直接研究室を訪ねてください。

電話番号

028-667-7111（代）

授業用E-mail

shishido@sakushin-u.ac.jp